

自分を守る！

ビジネスにつなげる！

社会貢献をする！

30 復旧・復興を支援している例 / その他の事例

1. 2. 3. 4. その他事業者

災害復旧活動を効率化する新たな位置情報Nコードの普及活動

一般社団法人Nコード管理協会

事例番号 239

■業種：複合サービス事業

■取組の実施地域：東北、関東、東京、中部、近畿、中国、九州

- 災害時の救助、復興活動において災害対策本部と警察、消防他関係主体が情報共有を行うには従来のように地元民にしか解らない住所や目標物に頼ってでは限界があり、市街地だけでなくどんな場所でも対応するには座標の導入が不可欠であるが既存の緯度経度等の座標では対応できない。
- そこで、一般社団法人Nコード管理協会では、緯度経度との互換性を保ちながら誰もが分かり易いように10進法、整数に変換した新たなNコードという座標体系の普及促進を図っている。
- Nコードを使うと災害時などにおいて僅か8桁の数字で約5mの精度で位置情報の共有が可能になり、既に兵庫県防災企画局を起点に大阪、奈良に広がりを見せ、一般財団法人消防科学総合センターが全国自治体の消防防災機関に無料で配信している「消防防災GIS」に採用され、全国航空消防防災協議会からも災害時に使える最も優れたコード体系と評価されている。
- Nコードは紙地図、電子地図、カーナビ、携帯電話などの位置情報利用媒体の座標を統一することも可能であり、災害時における位置情報の一元化で救助復興活動は大幅に効率化される。
- 同協会では、スマートフォンでNコードを取得できるアプリを誰もが使えるように無料公開しているため、災害対策本部と関係機関さらには住民までを含めた位置情報の共有が可能となる。
- Nコードは全世界対応で、文字、言語のバリアがないため、頻発する海外の災害の救援活動においても大きな役割を果たす事が可能であり、日本発の防災システムとして国際貢献が可能となる。